

平成25年 9月 24日
愛知県競馬組合
総務広報課 城（たち）樋口
TEL 052-661-9793又は9795

名古屋競馬経営改革委員会から提言された愛知県競馬 組合が取り組むべきとされた事項の工程表について

本年、7月26日に名古屋競馬経営改革委員会から競馬組合の構成団体（愛知県・名古屋市・豊明市）に「名古屋競馬の経営改革に関する検討結果報告書」が提出され、愛知県競馬組合では、報告書にある各種の経営改革の取り組みを着実に実施するための工程表を別添のとおり作成しました。

なお、今後はこの工程表に基づき、諸施策を着実に実施することにより単年度収支の黒字を確保できるように競馬事業運営に努めてまいります。

名古屋競馬経営改革委員会から愛知県競馬組合が取り組むべきとされた事項工程表

愛知県競馬組合

整理 番号	項 目	取り組むべき事項	取組状況	25	26	27
1	1 項目別の収支目標 値の設定と期中の 収支管理	期中においても年度内に複数回チェック を行い、機動的に収益構造の見直しがで きるよう、あらかじめ手順を確立させ る。	未実施	構成団体、馬関係 者、競馬組合による 名古屋競馬運営連絡 会（仮称）を設立 し、年間で4期に分 けて、期ごとの収支 状況の検証を行う。 検証の結果、年間収 支の赤字が見込まれ る場合には、期中に おいても、人件費、 賞金・諸手当、その 他開催経費の見直し を行なう。		
2	2 経費削減 (1)人件費	競馬組合の収支の悪化が予想される場合 は、賞与や給与水準の見直しなどを組合 上層部から責任に応じて、段階的に実施 するような対応が必要であり、その対応 方法について競馬組合内におけるコンセ ンサス形成を図っておくことがのぞまし い。	25年度は本 棒・手当の カットを実施 済み。			
3	2 経費削減 (2)各種契約の見直し ①	テレビ放映業務では、組合の旧式の映像 設備に知悉した業者が他に見当たらない 等の理由で、特定の業者と継続して契約 しているが、対応可能な事業者が存在し ないかどうか再確認を行うとともに、作 業マニュアルなどを整備し、複数者で入 札できるような環境を整えられたい。	未実施	作業マニュアルの整 備について事業者と 調整する。		
4	2 経費削減 (2)各種契約の見直し ②	警備業務については、多くの業務を民間 委託している中で、組合職員（正規職員 2名・嘱託職員6名）も警備業務に従事 している。委託業務と重複していない か、あるいは、組合職員が行う警備業務 も包括的に委託できないか検証されたい。	未実施	配置ポストや人員数 の妥当性を検証し、 必要に応じて見直 す。		
5	2 経費削減 (2)各種契約の見直し ③	競争入札をしている場合であっても、よ り実質的な競争となるよう、入札参加業 者を増やすことに努められたい。	実施中			
6	2 経費削減 (2)各種契約の見直し ④	契約手続の透明性を確保するため一定額 以上の発注及び調達に関する情報等につ いてホームページ上に公開することが望 ましい。	未実施	組合ホームページへ 入札情報を掲載す る。	26年度契約から適 用する。	
7	2 経費削減 (2)各種契約の見直し ⑤	企画競争によって業者を選定する場合に は、価格競争型プロポーザル方式を活用 するなどして、契約額を抑制することも 検討されたい。	未実施	価格競争型プロポー ザル方式を導入す る。	26年度契約から適 用する。	
8	2 経費削減 (3)補助金の見直し	補助金は、そもそも競馬組合が経費を負 担すべきか。受益者負担はできないか。 補助が必要な場合であっても、その額を 減らせないか。	未実施	愛知県馬主協会への 補助を見直す。	その他の補助金につ いても見直す。	
9	2 経費削減 (4)広告・販売促進費	従来の広告・販売促進の費用対効果の検 証を行い、その手法が適正かどうか客観 的に把握することが必要であり、自治体 が実施するイベントや競馬場周辺施設と のコラボレーションによる宣伝等、少な いコストでより大きな効果が得られるよ うな手法を検討する。	実施中	今後も県や市町村が 行なうイベントの情 報収集を積極的に行 なう。		
10	2 経費削減 (5)賞金・諸手当	売上額に占める賞金、手当の割合を一定 に保つなど、売上に連動させる仕組みを 導入すること考えられる。また組合収 支の悪化が予想される場合、年度途中に おいても柔軟に対応できる仕組みが必要。 要。	未実施	構成団体、馬関係 者、競馬組合による 名古屋競馬運営連絡 会（仮称）を設立 し、年間で4期に分 けて、期ごとの収支 状況の検証を行う。 検証の結果、年間収 支の赤字が見込まれ る場合には、期中に おいても、人件費、 賞金・諸手当、その 他開催経費の見直し を行なう。		

名古屋競馬経営改革委員会から愛知県競馬組合が取り組むべきとされた事項工程表

愛知県競馬組合

整理 番号	項 目	取り組むべき事項	取組状況	25	26	27
11	3 適切な開催日数の 設定	25年度の開催日を前年度から8日減らしているが、計算上は、収益改善のためには更なる見直しが必要。	25年度は8日減を実施済み。	馬券売上実績や在厩馬数をみながら検討し、必要に応じて開催日数を見直す。		
12		他の競馬場と開催日程が重ならないよう調整しつつ、売上が見込める時期・曜日にレースを集中し、1レース当たりの頭数を増やすことで引き締まった番組構成を実施し、魅力ある最後まで競い合うレースをファンに提供されたい。1レース当たりの出走頭数は原則として10頭以上とするなど、競馬関係者と調整を進め、妙味のある番組を編成していただきたい。				
13	4 収入増の取組 (1)本場顧客へのサービス向上と集客	ファミリー層・女性層のファン開拓のための分煙化	未実施	禁煙エリアの設定、立て看板の設置を行う。		
14		美術系の学生を始め、一般市民、ファンのボランティアにより、外壁や建物壁面をカラフルな色調や爽やかデザインでペインティング	未実施	施設の整備計画を検討する中で、適切なスペースが確保できれば実施する。		
15		顧客からの積極的な聞き取り調査、モニター募集、優秀スタッフの投票など。	未実施	ご意見箱・アンケート用紙の設置、HPへのご意見コーナー開設を行なう。また、スタッフの名札を作成し、着用を徹底する。		
16		交流場所の提供。	未実施	今後も顧客のニーズに合わせた企画を提案する。		
17		乗馬体験やポニーとのふれあい。	実施中	今後もイベント等において企画していく。		
18		来場者UPのためのスタンプカード。	未実施	スタンプカードよりも電子マネーの方がポイントサービス内容をバラエティーに富んだものとするができるため、電子マネーの導入に向けたシステムを検討していく。		
19		馬産地（北海道）物産展。	実施中	今後もイベント等において企画していく。		
20		他場（JRA・地方）の紹介パネル。	未実施	紹介パネルを作成し、場内に掲示する。		
21		友の会やファンクラブの設立。	一部未実施	twitter、FacebookといったSNSは既に実施済みのため、今後も継続していく。また、騎手のファンクラブの設立については、競馬ファンからの要望が多ければ設立する。		

名古屋競馬経営改革委員会から愛知県競馬組合が取り組むべきとされた事項工程表

愛知県競馬組合

整理 番号	項 目	取り組むべき事項	取組状況	25	26	27
22	4 収入増の取組 (2)インターネット顧 客へのサービス	ポイントやマイルが貯まるサービス（貯 まったポイントは本場で有料席や飲食で 使える）	未実施	地方競馬への電子マ ネー導入が平成26 年春に実現できる見 込みとなったため、 名古屋競馬場におい ても電子マネー導入 によるファンサービ スを検討し、実施す る。		
23		メール会員募集（情報提供と本場で使え る割引券をセット）	未実施	twitter、Facebook は実施中であるが、 コミュニケーション ツールとして主流で ある「LINE」が使用 できるよう申請中 であるため、許可が出 た後、事業展開して いく。		
24		CS放送等のLIVE動画をホームページで わかり易く周知する。	実施中	既にホームページの 大バナーでCS放 送、USTREAM、 ITVでのライブ映像 周知を実施済みであ るため、今後も継続 していく。		
25		スマートフォン版ホームページ新設等	実施中	現行のホームページ はスマートフォンで も閲覧可能であるた め、今後も継続して いく。		
26	4 収入増の取組 (3)注目される競馬 場、魅力ある レース ア パブリシティ	特に、25年春にデビューした若手女性 ジョッキーをファンが温かく応援してい く雰囲気作りを行い、ジョッキーとして の成長物語をファンが共感を持って見守 るような仕掛けを関係機関の協力を得て 行うこと。	実施中	今後もマスメディア を絡めた活動を展開 し、ファンが共感で きるイベントを企画 していく。		
27		ノベルティ等に記載されているキャッチ コピー「推理とロマンの名古屋競馬」に しても、再生名古屋競馬のイメージを 喚起するキャッチコピーを公募により 一新するなど、再生に向け魅力ある競馬場 のイメージを内外にアピールすることも 考えられる。	未実施	現行のキャッチフ レース「推理とロマ ンの名古屋競馬」と 「758ドリームグッ ターズ」を活かし、 認知度の向上を図 る。		
28		競馬への関心UP（例：トレセンレポー ト、新馬情報など）	未実施	実現に向け厩舎関係 者と調整が整えば、 実施する。		
29		競馬場のサブネーム（例：打ッソカ バ、打ッヤバソホース）	未実施	名古屋競馬場のサブ ネーム（愛称）を公 募し、広報などの事 業展開に活用してい く。		
30		キャラクターグッズ販売	未実施	実施に向けての課題 を整理し、請負業者 の選定等を行う。		
31	4 収入増の取組 (3)注目される競馬 場、魅力ある レース イ 魅力あるレース	話題性のあるレースの創設やジョッキー の個性を際立たせる仕掛け等、ファンの 購買意欲を高める試み	実施中	ファンの認知度を高 めるため、ホーム ページ等広報を充実 させる。		

名古屋競馬経営改革委員会から愛知県競馬組合が取り組むべきとされた事項工程表

愛知県競馬組合

整理 番号	項 目	取り組むべき事項	取組状況	25	26	27
32	4 収入増の取組 (3) 注目される競馬 場、魅力ある レース イ 魅力あるレース	各厩舎で選抜した個性の強い「推しウマ」、勝利数の少ない馬、ユニークな名前の馬を集めてレースをセットし、その馬の生い立ちや成績等をストーリー仕立てで紹介して固定ファンの獲得を図る。	一部実施中	ストーリー性のあるレースを検討し、馬の競走能力等の均衡が図られれば実施する。		→
33		ジョッキーのキャラクターをファンに掴んでもらうため、それぞれの親しみやすいインタビュー画像を動画配信（YouTube・ニコニコ動画等）し、名古屋競馬ホームページのトップページから簡単に見られるようにする。	実施中	重賞レースの勝利騎手インタビューを動画配信中等である。		→
34		スターホース、スタージョッキーの育成。	一部実施中	関係者が一丸となり強い馬づくりを目指し、ファンの認知度を高めていく。		→
35		話題となりそうな馬の情報提供（名前、年齢、勝率、性格等でファンへアピール）。	実施中	引き続き、戦績に限らず話題性の高い競走馬や騎手の情報提供がされるよう厩舎関係者と調整を図っていく。		→
36		初心者にもわかりやすいようなレース体系。	実施中	現在も独自のレース編成を行っており、ファンの認知度が向上するよう積極的な広報活動を行っていく。		→
37		高知のファイナルレースのように、年間10勝に満たない馬ばかり集めて、低レベルだが熱いレースをセット。	実施中			
38	4 収入増の取組 (4) 関連収入の拡大	JRA馬券発売時の駐車場有料化、民間駐車場への賃貸。	未実施	競馬ファンの駐車場利用の動向をみる。	ウインズ名古屋改修 H26 一部オープン	→ H27.5頃 全館リニューアル オープン
39		協賛レース 企業・団体協賛金を賞金に充当（個人は除く）。	未実施	当年度において賞金に充当できるよう準備中である。		→
40		協賛レース増のためのローラー作戦。	未実施	HPや出走表、通常広告等によるPRを行う。		→
41		・食べに行きたい飲食店づくり。 ・場内飲食店・売店の競争入札。	一部未実施	空き店舗の公募に向けた調整を行う。 増設する自販機のススペースの確保を行う。	空き店舗の公募など公募・競争入札を拡大する。 増設自販機の競争入札による貸付を行う。	→

名古屋競馬経営改革委員会から愛知県競馬組合が取り組むべきとされた事項工程表

愛知県競馬組合

整理 番号	項 目	取り組むべき事項	取組状況	25	26	27
42	4 収入増の取組 (4) 関連収入の拡大	弥富トレセン未利用部分（西尾張中央道に接する部分：物流用地に限る）におけるリース事業。	未実施	未利用地の活用は収支の改善に資するため調査・研究を行う。 また、賃貸等を希望する業者関連の情報収集を行う。		
43	5 地域貢献	・地域住民の集いの場所を提供。 ・子育て支援NPOや学童保育へのスペース提供。	実施中	既に競馬場会館の体育館、会議室を地域住民の集いの場所として提供しているため、今後も継続して実施する。		
44		社会見学（大人・子ども）の積極的な受け入れ。	実施中	名古屋競馬場や弥富トレーニングセンターの見学ツアーや小・中学校の職場体験など、既に毎年恒例のイベントとして実施しているため、今後も継続して実施していく。		
45		フリーマーケットの場所提供。	未実施	開催時におけるイベントの一環として実施していく。		
46		サンクスホースデイズ：馬券の買い方など、特にビギナー向けの案内ディスプレイ・案内人員を増強して、イベントを機会に新規顧客の獲得を図るべきである。	未実施	ボランティアの応援要請、名古屋競馬関係情報を立て看板により掲示する。		
47		福祉関係者が弥富トレーニングセンターにおいて、ホースセラピーを実施するような可能性についても調査を進められたい。	未実施	ホースセラピーを弥富トレーニングセンターで実施できるか福祉関係者へ調査を実施する。		
48	6 ガバナンスの確立	競馬組合の部門ごとに組織としての目標を設定し、責任者と期限を定め、組織目標を実現するために、組合職員一人ひとりが組織目標と連鎖した個人の目標を定め、年度途中に個人目標、組織目標の進捗状況を管理するなど、強固なガバナンス（内部統治）を確立することが必要。	未実施	競馬関係者への「名古屋競馬ルネッサンス宣言」の理念共有、意識の徹底を図る。	各課室（部門）毎に目標を設定し、進捗管理を行う。	
49	6 競馬関係者と経営情報の共有	競馬組合と、調教師、騎手、厩務員など競馬関係者が共通目標に向かって一丸となって取組む体制作りが必要。	未実施	構成団体、馬関係者、競馬組合による名古屋競馬運営連絡会（仮称）を設立し、年間を4期に分けて、期ごとの収支状況の検証を行う。検証の結果、年間収支の赤字が見込まれる場合には、期中においても、人件費、賞金・諸手当、その他開催経費の見直しを行なう。		
50	7 施設整備と資金調達	スタンドの耐震工事やバリアフリー化工事を始めとする必要最小限の施設整備が必要。 施設整備に必要な資金について、競馬組合自らが経営改善を積み重ね、収支黒字化を継続することで発生する留保金を財源とする必要があるが、外部からの資金調達の可能性を含め、早期に着手する必要がある。	未実施	整備の優先順位を設定する。 また、必要な財源について検討を行う。	財源確保の見通しが立てば整備を実施する。	